




論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第751号	氏名	今山 直美
学位審査委員	主 査	朝比奈 泉	  
	副 査	筑波 隆幸	
	副 査	根本 孝幸	
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価          本研究は、現在日常臨床において最も遭遇頻度が高い舌扁平上皮癌において、転写因子のひとつである FOXC2 ( forkhead box C2 ) の臨床病理学的意義ならびに細胞生物学的特徴について検討したもので、その研究目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価          臨床病理学的因子との関連について、未治療の舌扁平上皮癌組織を用いて免疫組織化学的染色を行い、また、細胞生物学的特徴の検討においては舌扁平上皮癌由来細胞株を用いており妥当である。また、免疫染色をはじめとし、培養細胞での浸潤能、増殖能の評価方法、解析方法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価          舌扁平上皮癌における FOXC2 の発現の意義について臨床病理学的因子や予後との関連、また、舌扁平上皮癌培養細胞を用いた浸潤能・増殖能との関連を解析した結果、舌扁平上皮癌における FOXC2 の過剰発現は、腫瘍細胞の増殖や浸潤に関与し、予後不良因子となりうる可能性が示唆された。加えて FOXC2 は舌扁平上皮癌において、FOXC2-VEGF シグナリングを介して、腫瘍の増殖および浸潤に関与していることが示唆された。</p> <p>以上のように本論文は、舌扁平上皮癌における FOXC2 の発現の臨床病理学的意義ならびに細胞生物学的特徴についての研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（歯学）の学位に値するものと判断した。</p>			

(注) 報告番号は記入しないこと